

(2) ウイルス検定

○イネ縞葉枯病ウイルス

ア 目的

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒の実態を明らかにし、今後の防除対策に資する。

イ 採集及び検定方法

(ア) 供試虫の採集

越冬世代：2017年（平成29年）3月12日～17日

第1世代：2017年（平成29年）5月11日～20日

(イ) 検定方法

簡易エライザ法により、越冬世代は3月下旬、第1世代は6月上旬に検定を行った。

ウ 結果の概要

第1表 越冬世代の各地点における保毒虫率

調査地点	検定虫数	保毒虫率 (%)	生息量 (頭/10m ²)
長崎市手熊	61	0	9.1
長崎市琴海町戸根	139	0.7	7.4
諫早市多良見町	128	0	6.1
諫早市森山	33	0	0.4
雲仙市国見町	171	1.8	9.9
雲仙市吾妻町	113	1.8	4.6
佐世保市長畑	142	0	7.7

第2表 過去の越冬世代の保毒虫率の推移

調査年度	H24	H25	H26	H27	H28	平年	H29
保毒虫率 (%)	2.1	1.6	0.8	0.6	0.5	2.1	0.8

注) 平年値は平成19～28年の平均（最大・最小値を除く）

第3表 第1世代の各地点における保毒虫率

採 集 地 点	検定虫数	保毒虫率 (%)	生息量 (20回すくい とり頭数)
長崎市琴海町戸根	24	-	8.8
長崎市外海町神ノ浦	-	-	0.2
西海市大瀬戸町	2	-	0.1
諫早市小船越	94	0	21.3
諫早市小野	94	0	16.9
諫早市森山	94	0	14.1
諫早市多良見町	29	-	2.4
大村市鈴田	94	1.1	11.1
東彼杵町三根	94	0	58.9
雲仙市吾妻町	94	0	18.8
雲仙市国見町神代	94	0	112.8
佐世保市長畑	94	0	26.1
佐世保市針尾	46	0	2.5
松浦市志佐	25	-	1.0
平戸市紐差	30	0	1.6
五島市三井楽	12	-	1.3
五島市大津	6	-	0.6
五島市崎山	-	-	0
五島市富江	4	-	0.3
五島市岐宿	42	0	13.8
壱岐市郷ノ浦町	94	0	11.1
壱岐市芦辺町	94	0	10.8
壱岐市勝本町	1	-	0.1
対馬市巖原町佐須	1	-	0.1
対馬市上県町佐護	-	-	0
対馬市上県町仁田	1	-	0.2
県全体	1163	0.1	9.8
平年値	-	1.2	10.8

*保毒虫率については、30頭以上捕獲した調査地点のみ算出

第4表 過去の第1世代の保毒率の推移

調査年度	H24	H25	H26	H27	H28	平年	H29
保毒虫率 (%)	2.5	1.0	0.5	0.4	0.4	1.4	0.1

注) 平年値は平成19～28年の平均(最大・最小値を除く)

○イネ萎縮病ウイルス

ア 目的

ツマグロヨコバイのイネ萎縮病ウイルス保毒の実態を明らかにし、今後の防除対策に資する。

イ 採集及び検定方法

(ア) 供試虫の採集

2017年（平成29年）5月下旬

(イ) 検定方法

ラテックス凝集反応法により2017年6月2日に検定を行った。

ウ 結果の概要

ツマグロヨコバイの第1世代のウイルス保毒率は平年並であった（第5、6表）。

第5表 各地点における保毒虫率

調査地点名	検定虫数	保毒虫数	保毒虫率 (%)
諫早市小船越	100	0	0
雲仙市吾妻	100	0	0
合計(平均)	100	0	0

第6表 過去の第1世代の保毒率の推移

調査年度	H24	H25	H26	H27	H28	平年	H29
保毒率 (%)	0	0	0	0	0	0	0

注) 平年値は平成19～28年の平均（最大・最小値を除く）